

編集 後記

2号をお届け致します。2月中にはお届けしなかったのですが、遅れて4月になってしまいました。編集の作業の遅れとは逆に今年の桜の花の開花は例年より10日近く早く本号が届く頃は既に葉桜になっておられると思います。気候も世界的に温暖化が進んでいるようです。私が約20年ほど前にスウェーデンに留学していた頃は冬は-10~-20度になっていましたが、最近では-10度以下になるのは稀だそうです。早急な地球の温暖化対策が待たれます。

国内においても国民意識の変化、急速な情報化社会への移行でこれまでの社会機構では対応できず、機構改革が進んでいます。大学、研究所でも機構改革が進められています。社会の変化に対応した機構の改革は勿論必要であると思いますが、一部の声の大きな人たちの影響が色濃く出て、あ

まり主張しない良識ある多数の人々の意見が反映されていない懸念があります。

動物実験においても、動物愛護団体からの圧力が大きく、動物実験の必要性を主張する意見は相対的に弱く、行政面に反映されにくくなっています。私の周囲の一般の人の80%は動物実験の必要性を理解しています。我々動物実験をしている研究者は団結して動物実験の必要性を強く主張して、行政に反映されるよう努力する必要があると思います。

生理学会も新しい体制に変わりました。正当な意見を生理学会として世の中に主張して行く方法を考えていくべきかと思いますがいかがでしょうか。

(佐々木成人記)

*編集執行委員

編集委員

*金子 章道 (編集幹事) (感覚)	青木 藩 (呼吸)
小野田法彦 (感覚)	河南 洋 (自律神経, 内分泌)
*工藤 典雄 (運動, 発生・成長・老化)	窪田 隆裕 (腎・体液)
黒島 晟汎 (環境)	*小西 真人 (筋)
佐久間康夫 (生殖)	*佐々木成人 (運動)
高田 明和 (血液)	菅屋 潤壹 (栄養・代謝・体温)
*高松 研 (神経化学)	土居 勝彦 (心臓・循環)
*入来 篤史 (感覚, 運動, 高次中枢)	成瀬 達 (消化・吸収)
辻岡 克彦 (循環)	*川上 順子 (感覚)
村上 政隆 (膜輸送)	福田 淳 (感覚, 高次中枢)
小山 なつ (HP担当)	吉岡 利忠 (体力)

日本生理学会事務局：〒113-0033 東京都文京区本郷3-30-10 布施ビル
TEL：03-3815-1624 FAX：03-3815-1603 (勤務時間10：30～18：30)
E-mail：psj@qa2.so-net.ne.jp
URL：http://www.soc.nii.ac.jp/psj/